

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2011-130454(P2011-130454A)

【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2011-1268(P2011-1268)

【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 3 M 13/27 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 1/00 F

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 3 M 13/27

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

種々の F F T サイズを持つ直交周波数分割多重 ( O F D M ) を用いる無線通信システムにおいてインターリーブする方法であって、

1以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリーブすること、  
前記1以上のインターレースをインターリーブすること、  
を含む方法。

【請求項 2】

サブキャリアの数が 2 の二乗でなければ前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

ビット反転方法で 1 以上のインターレースのサブキャリアをインターリーブすることはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングすることを含む、請求項 1 の方法。

【請求項 4】

前記 1 以上の情報インターレースをインターリーブすることは O F D M シンボル毎に行う、請求項 1 の方法。

【請求項 5】

種々の F F T サイズを持つ直交周波数分割多重 ( O F D M ) を用いる無線通信システムにおいてインターリーブする装置であって、

1以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリーブするように構成されるプロセッサと、

前記1以上のインターレースをインターリーブするように構成されるプロセッサと、  
を具備する装置。

【請求項 6】

サブキャリアの数が2の二乗でなければ前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項5の装置。

【請求項7】

前記インターレースの数は8である、請求項5の装置。

【請求項8】

1以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリーブするように構成される前記プロセッサはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方法でコンステレーションシンボルのシンボルを対応するサブキャリアにマップするように更に構成される、請求項5の装置。

【請求項9】

前記1以上のインターレースをインターリーブすることはOFDMシンボル毎に行う、請求項5の装置。

【請求項10】

種々のFFTサイズを持つ直交周波数分割多重（OFDM）を用いる無線通信システムにおいて命令を実行するプロセッサであって、

前記命令は

1以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリーブすること、  
前記1以上のインターレースを前記ビット反転方法でインターリーブすること、  
を含む、プロセッサ。

【請求項11】

サブキャリアの数が2の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項10のプロセッサ。

【請求項12】

前記インターレースの数は8である、請求項10のプロセッサ。

【請求項13】

ビット反転方法で1以上のインターレースのサブキャリアをインターリーブすることはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングすることを含む、請求項10のプロセッサ。

【請求項14】

前記1以上の情報インターレースをインターリーブすることはOFDMシンボル毎に行う、請求項10のプロセッサ。

【請求項15】

種々のFFTサイズを持つ直交周波数分割多重（OFDM）を用いる無線通信システムにおいてインターリーブする装置であって、

1以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリーブする手段と、  
前記1以上のインターレースを前記ビット反転方法でインターリーブする手段と、  
を含む、装置。

【請求項16】

サブキャリアの数が2の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項15の装置。

【請求項17】

前記インターレースの数は8である、請求項15の装置。

【請求項18】

ビット反転方法で1以上のインターレースのサブキャリアをインターリーブする手段はインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングする手段を含む、請求項15の装置。

【請求項19】

前記 1 以上の情報インターレースをインターリーブすることは OFDM シンボル毎に行う、請求項 15 の装置。

【請求項 20】

種々の FFT サイズを持つ直交周波数分割多重 (OFDM) を用いる無線通信システムにおいてインターリーブするシステムであって、

ビット反転方法で 1 以上のインターレースのサブキャリアをインターリーブするように構成されるプロセッサと、

前記 1 以上のインターレースをインターリーブするように構成されるプロセッサと、  
を具備する、システム。

【請求項 21】

サブキャリアの数が 2 の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項 20 のシステム。